

令和5年度に向けた
県の予算及び施策に関する
重要事項要望書



令和4年7月

 **徳島市**

【白紙ページ】

日ごろは徳島市政の推進につきまして、格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、国内初確認から2年余りが経過しましたが、いまだ収束が見通せない状況が続いております。本市としましても、ワクチン接種の促進や基本的な感染対策の徹底の周知とともに、関係機関と緊密に連携し、社会・経済活動の回復と活性化に全力で取り組んでまいります。引き続き本市の関連施策の推進につきましてご支援・ご協力をお願い申し上げます。

さて、本市は今年5月に「SDGs 未来都市」に選定されました。今後、本市ならではの取組を積極的に進めることで、「みんながSDGsを実現するまち」を目指してまいります。あわせて『徳島市総合計画2021』に掲げる将来像である「わくわく実感！水都とくしま」の具現化に向け、「中心市街地の新たなまちづくり」をはじめ「地方創生」、「国土強靱化」などの重要課題に取り組んでいるところです。これらの諸課題に迅速・的確に対応し、「わくわくを実感できるまち」を実現させていくためには、貴職の一層のご支援・ご協力が必要不可欠でございます。

つきましては、令和5年度の予算編成及び施策の決定に際し、このたび要望いたします本市重要事項について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年7月

徳島県知事 飯泉 嘉門 殿

徳島市長 内藤 佐和子

【白紙ページ】

令和5年度に向けた
県の予算及び施策に関する重要要望事項

目次

県主管部局	要 望 事 項	頁
政 策 創 造 部	縣市協調によるSDGsの実現について	1
未来創生文化部 商工労働観光部 県土整備部	中心市街地活性化に向けた取組について	3
県土整備部	高規格道路網等の整備促進について	5
県土整備部	県施行による一般道路事業の推進について	7
県土整備部	県管理河川の治水及び地震・津波対策の促進 について	9

縣市協調によるSDGsの実現について

＜県主管部局 政策創造部＞

【要望の趣旨】

本市は、令和4年度「SDGs未来都市」に選定されたが、今後、提案の具体化・実現に向けて、県の知見や助言を得つつ、縣市協調して取り組んで行けるよう協力を要望するもの。

現況

- 本市では、SDGsの達成のため、「ダイバーシティ」と「民間活力」を原動力として、**人となりがつながり、みんなでSDGsを実現するまちを目指し、提案を基にした計画づくりを進めていく。**
- 県では、気候変動対策への取組や、脱炭素社会の実現に向けた水素エネルギーや自然エネルギーの積極的な利用、また、環境、人、社会、地域などに配慮した「エシカル消費」の推進など、**持続可能な社会を構築するためSDGsの理念に通じる各種の取組を全国に先んじて進めているところ。**

課題

- SDGsの達成には、本市だけが取り組むものではなく、**県をはじめとする自治体や企業、県民・市民がその理念を理解し、自分のことと捉えて行動することが重要。**
- 県と本市で**取組が重なる部分や全県的に展開することが効果的な施策は、相互に役割分担して、協調・連携していくことが望ましい。**

**県と市が協調し、SDGsを積極的に推進し、
経済・社会・環境の三側面に好循環を！**

具体的要望内容

本市の「SDGs未来都市」の取組について、次のご協力をお願いします。

1. 県が全国に先んじて進めているSDGsの取組についての知見の提供や助言
2. 全県的に展開することが効果的なSDGs登録・認証等制度の構築等における、役割分担と協調・連携した取組

【徳島市担当部課】企画政策部SDGs推進室

1 SDGs未来都市に選定(令和4年5月20日)

内閣府が募集している「SDGs未来都市」に本市の取組を応募したところ、有識者による審査などを経て、5月20日に「2022年度 SDGs 未来都市」として選定されました。



内藤市長と野田地方創生担当大臣

2 徳島市SDGs未来都市計画(素案)の概要



ひょうたん島エリアを中心としたSDGsモデル地区形成事業

本市の顔である「ひょうたん島エリア」をSDGs実現のモデル地区とし、経済・社会・環境三側面の取組を進めることで、持続的に成長する都市の実現を目指します。

◆ 経済面の取組

～「活力」あるひょうたん島エリア～

- ☞ 唯一無二の体験コンテンツ等の提供
- ☞ アミコビルを核とした本市の活力再生



◆ 社会面の取組

～「包摂」性のあるひょうたん島エリア～

- ☞ 多種多様な人々の社会参加・進出の促進
- ☞ 「とくしま」への愛着・誇りの醸成



◆ 環境面の取組

～「循環」型のひょうたん島エリア～

- ☞ 環境にやさしい循環型ハード整備
- ☞ 気候変動に対応する都市づくり



ダイバーシティと民間活力を原動力とし、人と人がつながる「水都とくしま」創造事業

世代を超え、多様な主体が参画する「徳島市SDGs未来都市実現協議会」を軸にして、人と人がつながる取組を進めることにより、持続可能な「水都とくしま」を実現します。

◆ 自分たちのまちは、自分たちでつくる！

みんなでSDGsを実現する仕組みづくり

- ☞ 子どもの声を大切にする未来志向の取組
- ☞ 女性の視点や発想をSDGsに生かす取組
- ☞ 実証事業の推進による先駆的・実践的な取組
- ☞ 民間活力を未来都市実現の原動力にする取組
- ☞ 協議会活動の強化に向けた適正な基準の活用

◆ かわまちづくりの推進

- ☞ ひょうたん島川の駅ネットワークの推進
- ☞ 水都とくしまの魅力発信
- ☞ 持続可能なひょうたん島周遊船事業の検討



中心市街地活性化に向けた取組について

< 県主管部局 未来創生文化部、商工労働観光部、県土整備部 >

【要望の趣旨】

中心市街地の活性化に向けて、県市協調による事業のさらなる推進や新たな賑わい創出に向けた支援などの取組を要望するもの。

現 況

- 新ホールの整備やアミコビルの再生、新町西地区の新たなまちづくりなどが掲載された**徳島市中心市街地活性化基本計画**が令和4年3月24日に**内閣総理大臣の認定**を受けた。
- そごう徳島店の閉店で大きな影響を受けた**アミコビル**は、まもなくリニューアルを終え、本年秋に**グランドオープン**を迎える。
- また、まち全体の賑わいを生み出すため、**新ホールの整備**が**県市協調**で進んでいるほか、新町西地区においても再開発組合による**新たなまちづくり**が**スタート**している。

課 題

- 中心市街地活性化には、特に**JR徳島駅と阿波おどり会館を結ぶシンボルゾーンの賑わい**が**不可欠**であるが、新型コロナウイルス感染症の影響でまちなかの人流は大幅に減少している。
- 中心市街地活性化に向けた流れを確かなものとするには、引き続き**県と市、さらには民間事業者が連携・協調**しながら、取組を進めなければならない。

徳島文化芸術ホール(仮称)の整備やアミコビルの再生、新町西地区における新たなまちづくりなど、新たな光が差し込み始めた今こそ、中心市街地活性化に向けた流れを確かなものとする必要がある。

具体的要望内容

まちなか居住や賑わい創出による中心市街地活性化について、特段のご配慮をお願いします。

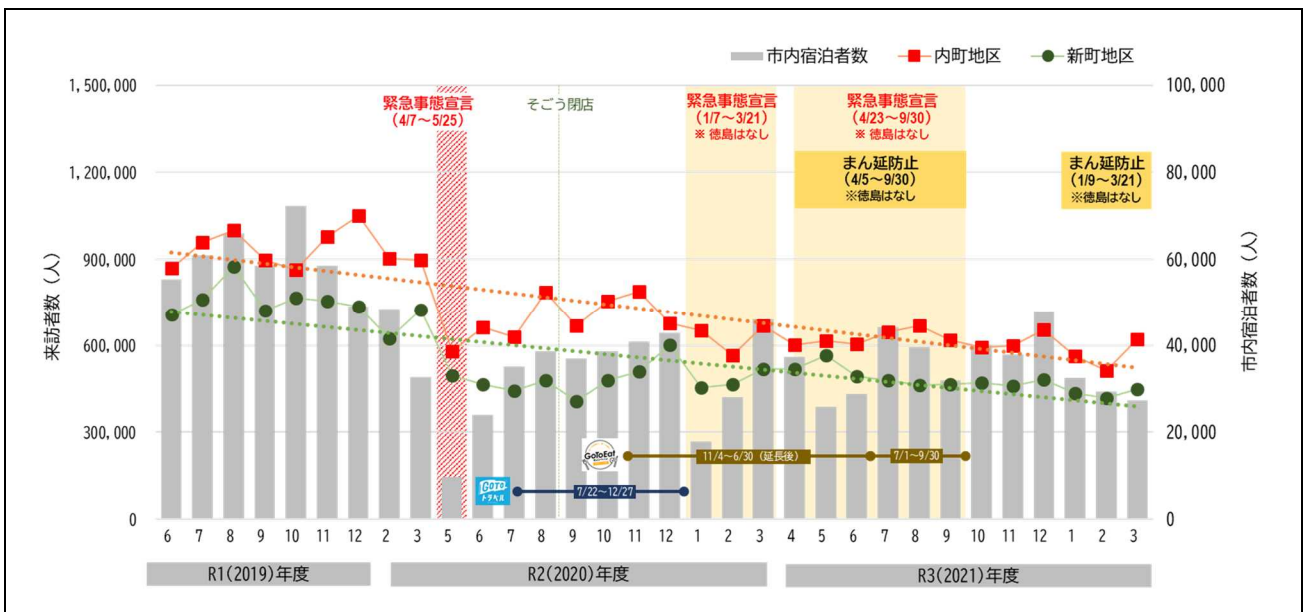
1. 徳島文化芸術ホール(仮称)整備事業の**県市協調による着実な推進**
2. アミコビル再生にも資する**県青少年センター等の継続的な魅力発信**
3. 新たなスタートを切った**新町西地区市街地再開発事業に対する支援の実施**
4. JR徳島駅前やシンボルゾーンなどに**賑わいを生み出す事業のさらなる展開**

【徳島市担当部課】 企画政策部企画政策課、都市計画課

市民文化部文化スポーツ振興課、都市建設部都市建設政策課

1 中心商圏における人流の推移

分析手法	スマートフォンのGPSデータを活用した人流測定システム「Datawise Area Marketer」による分析	
分析期間	令和元(2019)年6月～令和4年(2022)年3月 ※ 令和2年1月、4月はデータ欠損	
抽出条件	時間指定なし、0分以上滞在した者	
分析エリア	右図のとおり(内町地区、新町地区)	



2 まちなか居住人口の推移



高規格道路網等の整備促進について

< 県主管部局 県土整備部 >

【要望の趣旨】

高規格道路ネットワークの機能を高め激甚化・頻発化する自然災害に加え、人口減少など社会変化に対応できるまちづくりを目指すとともに、災害に強く人に優しい道路環境が整備されることを目指している。このことから高規格道路網等の整備促進について確実な事業の執行を要望するもの。

徳島南部自動車道・徳島自動車道

- ・ 四国の高規格道路ネットワークを形成
- ・ 本市と京阪神圏との広域交流に大きな効果を発揮

徳島環状道路

- ・ 本市中心市街地周辺の交通渋滞の解消に大きく寄与

高規格道路を補完

現況

- 徳島南部自動車道
 - ⇒ 徳島津田 IC～阿南 IC 間は、整備中。
 - ⇒ 徳島津田 IC は、ハーフ・インターチェンジ(鳴門方面)の供用。
 - ⇒ 徳島 JCT～徳島沖洲 IC 間が R4.3 に開通。
- 徳島自動車道
 - ⇒ 暫定 2 車線区間が約 7 割。
 - ⇒ 「藍住 IC～川之江東 JCT 間」が「高速道路における安全・安心基本計画」による優先整備区間に選定。
- 徳島環状道路
 - ⇒ 徳島市中心部では国道 11 号、55 号、192 号が交差しているため交通の集中により渋滞が慢性化。

課題

- 徳島南部自動車道
 - ⇒ 高規格道路、空港、港湾を生かしたまちづくり。
 - ⇒ 災害等に備え、人流・物流の活性化に向けたダブルネットワーク化の構築。
- 徳島自動車道
 - ⇒ 大規模災害時の物資輸送路の確保。
 - ⇒ 利用者の安全性、快適性、定時性、信頼性の確保が必要。
- 徳島環状道路
 - ⇒ 都市内交通と通過交通を分散させることが必要。

地方創生の実現に不可欠な国土強靱化による高規格道路網等の整備を促進する必要がある

具体的要望内容

高規格道路網等の整備促進について、特段のご配慮をお願いします。

1. 徳島南部自動車道の整備促進
 - (1) 側道整備事業及び周辺対策事業に対する支援 (徳島 JCT-小松島 IC)
2. 徳島自動車道の早期 4 車線化
3. 徳島環状道路の整備促進
 - (1) 徳島東環状線 (末広住吉工区、新浜八万工区)
 - (2) 徳島西環状線 (国府工区、国府藍住工区)
 - (3) 周辺対策事業に対する支援 (徳島南環状道路 川西地区)

【徳島市担当部課】 都市建設部広域道整備課

『地方創生』を実現し、地域の生産性向上を図る 『徳島環状道路』の早期整備を！！

路線名	番号	観測地点 地名	平日24時間交通量 (台/日)
一般国道55号	①	徳島市大松町上の口	44,523
	②	徳島市八万町沖須賀	58,962
一般国道11号	③	徳島市川内町鈴江北	57,493
	④	徳島市東吉野町1丁目	70,906
	⑤	徳島市徳島本町1丁目	60,247
一般国道192号	⑥	徳島市国府町観音寺	20,505
	⑦	徳島市庄町	28,928
	⑧	徳島市南出来島町	32,347

※H27年度 交通センサスより



**徳島市中心部
渋滞状況**
一般国道11号
徳島市徳島本町1丁目付近



**徳島東環状線
川内工区
(H24.4月 供用)**

**徳島東環状線
阿波しらさぎ大橋
(H24.4月 供用)**



**徳島東環状線
末広住吉工区
(整備促進)**



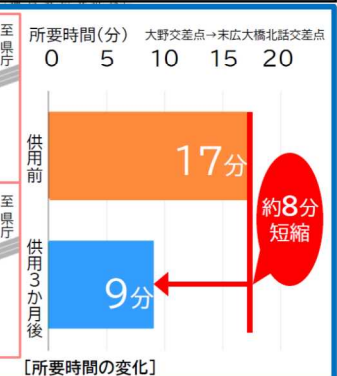
**徳島東環状線
新浜八万工区
(整備促進)**



徳島環状道路 約35km



- 国土交通省
- 徳島県(道路事業)
- 徳島県(街路事業)
- 供用中



県施行による一般道路事業の推進について

＜県主管部局 県土整備部＞

【要望の趣旨】

本市と隣接市町村を結ぶ主要幹線道路の渋滞緩和や安全で安心な道路環境を確保するため、早期に道路の拡幅や施設整備の推進について要望するもの。

現況

○国道438号ほか2路線

- ・自動車等の交通量が多い
- ・局部的に道路幅員が狭小
- ・道路網が不十分



課題

- 朝夕のラッシュ時には、交通渋滞が起こりやすく、交通事故も発生しやすい。



交通渋滞の緩和や安全で安心な道路環境を確保する必要がある

具体的要望内容

次の路線の早急な道路拡幅改良や施設整備の推進などについて、特段のご配慮をお願いします。

1. 渋滞緩和のため早期に計画を立て、推進していただきたい路線
 - (1) 国道438号のうち城南町1丁目から園瀬橋の間の拡幅改良整備
2. 現在進行中であるが、なお一層推進していただきたい路線
 - (1) 県道小松島佐那河内線の拡幅改良整備
⇒道路幅員が狭くなっており危険であるため
 - (2) 県道徳島上那賀線のうち飯谷町高良地区、小松島市田浦地区の拡幅改良整備
⇒道路幅員が狭くなっており危険であるため

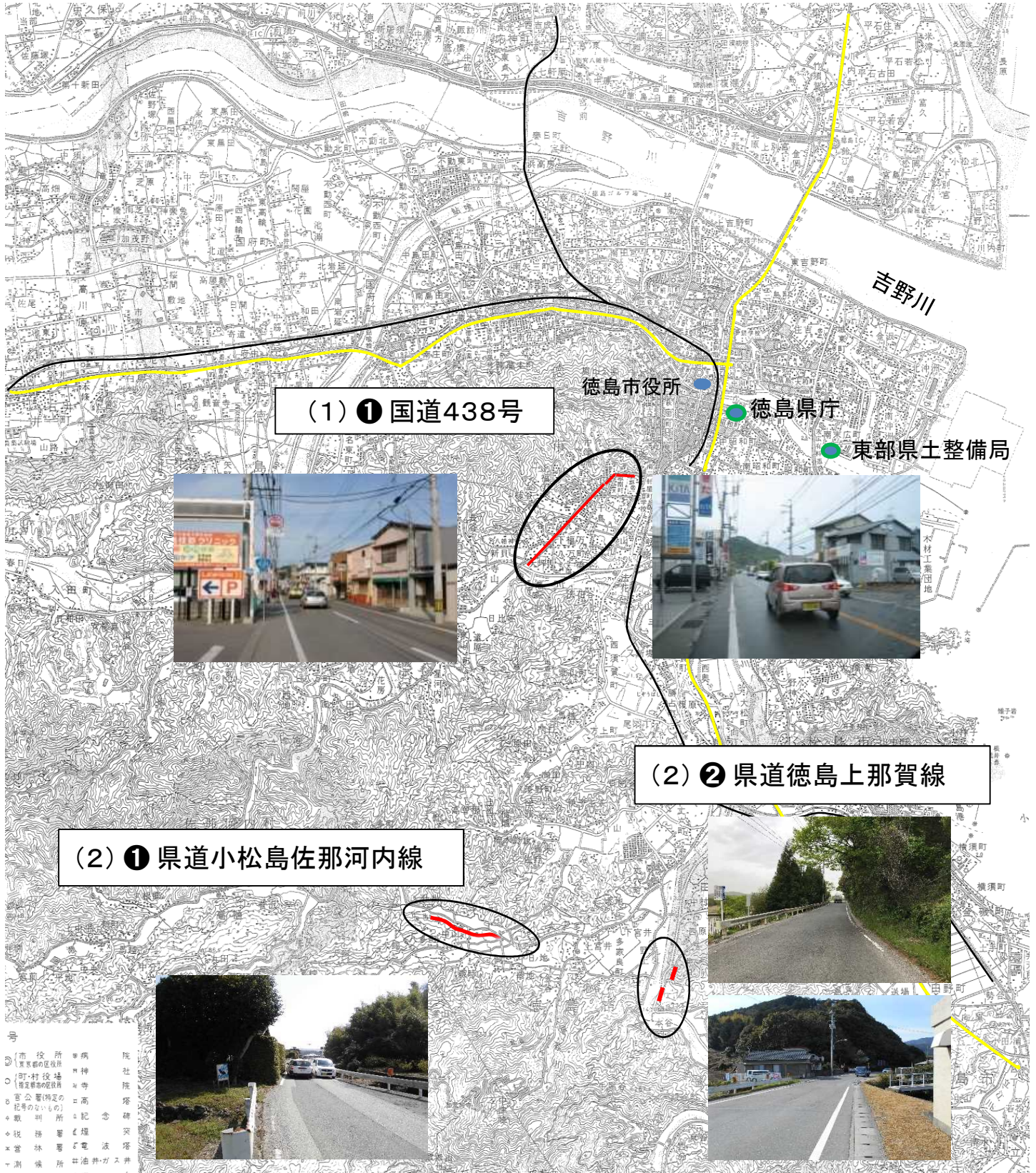
県道小松島佐那河内線



道路用地取得が難航している県事業において、市が積極的に協力することにより事業の推進を図ります。

【徳島市担当部課】 都市建設部道路建設課

重要事項の要望場所図



県管理河川の治水及び地震・津波対策の促進について

＜県主管部局 県土整備部＞

【要望の趣旨】

台風等による浸水被害や今後想定される南海トラフ巨大地震による津波被害の軽減を図るため、徳島市内の県管理河川における必要な対策の事業促進について、要望するもの。

現況

- 園瀬川
⇒改修工事が進んでいるが、無堤防地区が解消されていない。
- 多々羅川
⇒河道拡幅等の未整備箇所が多く残っている。
- 打樋川
⇒排水対策が必要である。
- 勝浦川
⇒堤防の地震・津波対策が必要である。
- 飯尾川
⇒河川改修、排水対策が必要である。

課題

- 大規模な台風やゲリラ豪雨の発生時には、流域で河川が氾濫し、甚大な被害が発生することが懸念される。
- 南海トラフ巨大地震を震源とした地震で河川管理施設が損傷した場合、津波等による二次被害が懸念される。



【園瀬川】川西地区の堤防整備の促進

市民の安全かつ安心な生活を確保するための対策が必要である

具体的要望内容

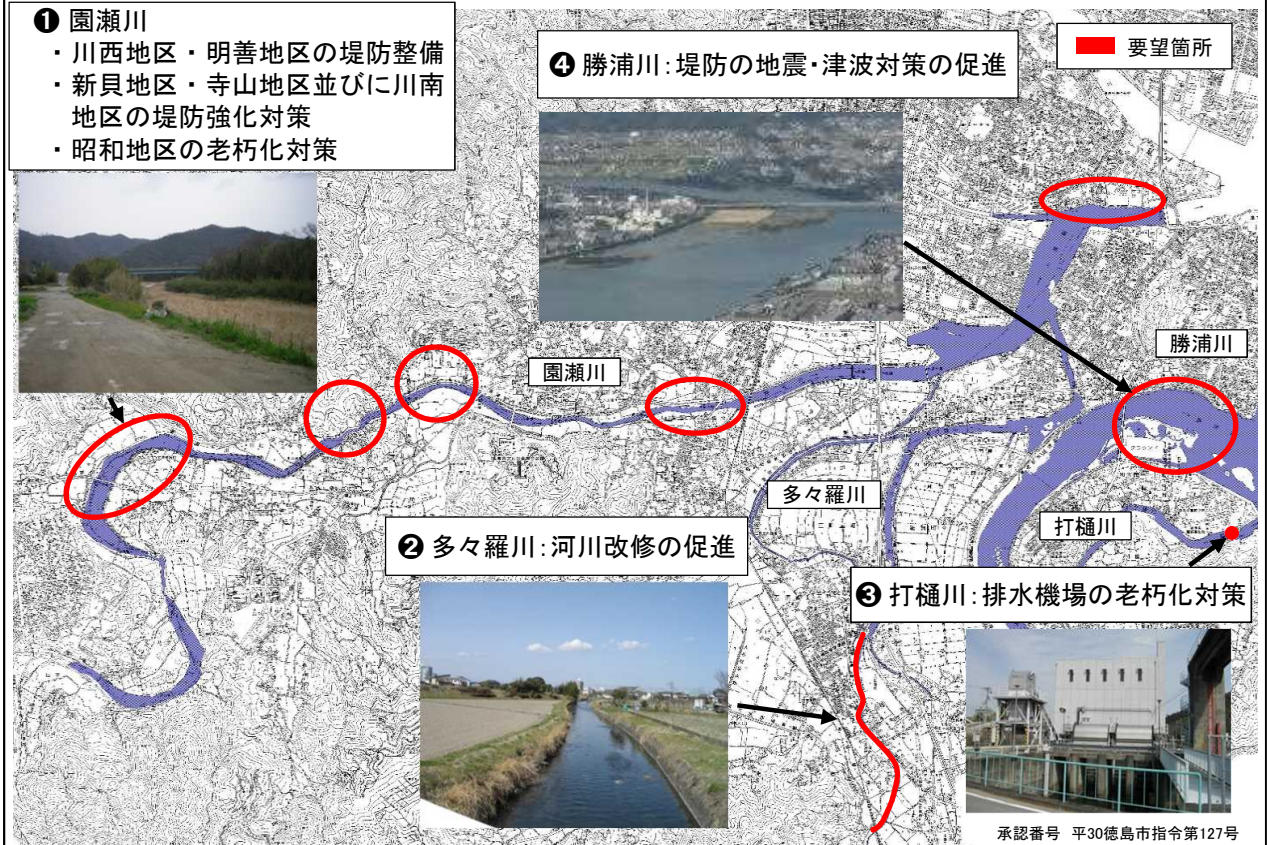
徳島市では、流域治水を推進しており、県においても管理河川における治水や地震・津波対策の計画的な整備促進に向け、予算枠の拡大と未整備箇所の事業促進について、特段のご配慮をお願いします。

1. 園瀬川 川西地区・明善地区の堤防整備、新貝地区・寺山地区並びに川南地区の堤防強化対策、昭和地区の老朽化対策の促進
2. 多々羅川 河川改修の促進
3. 打樋川 排水機場の老朽化対策
4. 勝浦川 堤防の地震・津波対策の促進
5. 飯尾川 西大堀川の河川改修の促進、加減堰左岸側の撤去は角ノ瀬排水機場の排水能力及び下流部の流下能力に応じたものにする

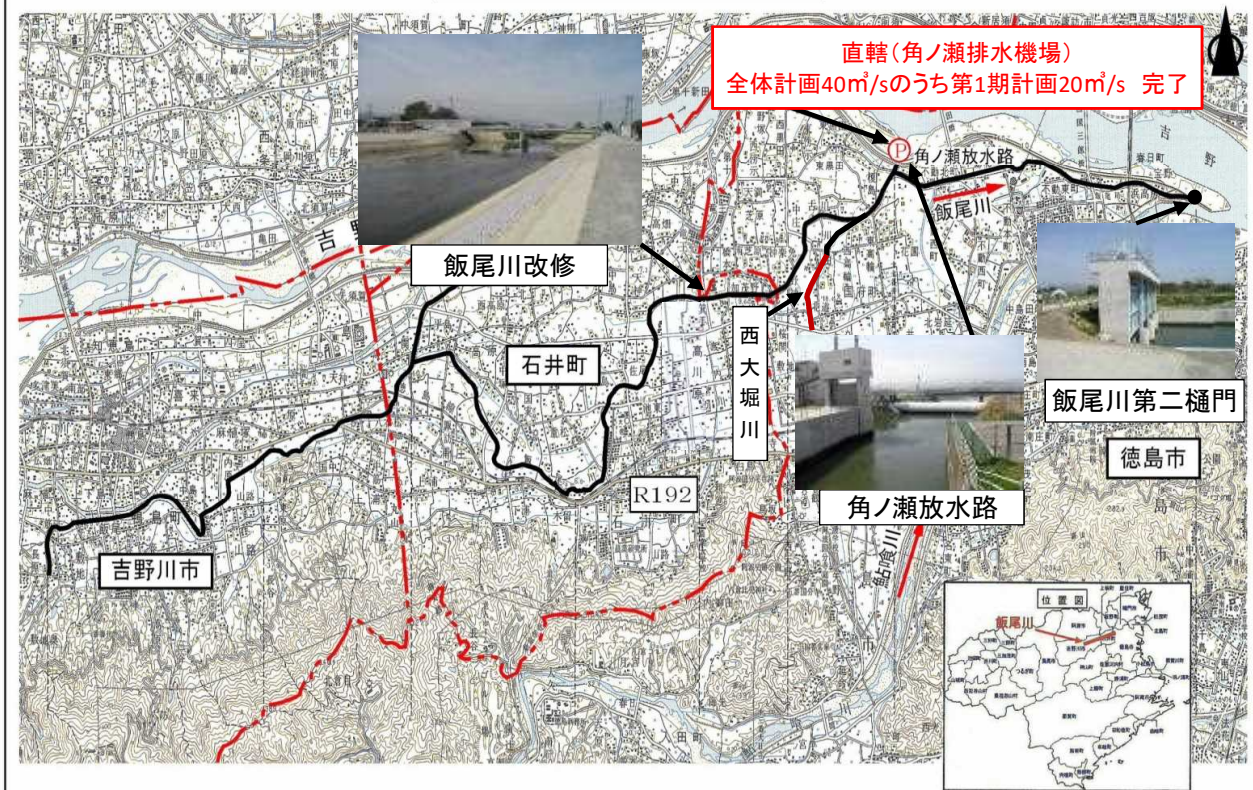
用地取得が難航している県事業において、市が積極的に協力することにより事業の推進を図ります。

【徳島市担当部課】都市建設部河川水路課

園瀬川・多々羅川・打樋川・勝浦川 要望箇所 位置図



⑤ 飯尾川 概要図





徳島市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。